

1人1台端末を活用した教育の充実

中核校	名寄市立名寄東小学校	指定校	名寄市立名寄小学校、名寄市立智恵文小学校 名寄市立名寄東中学校、名寄市立智恵文中学校
-----	------------	-----	---

実践前の状況

- ・1人1台端末を活用した児童生徒の主体的な学習の実現に向け、授業改善を進める必要があった。
- ・端末の持ち帰りに向け、保護者との連携を含む体制の整備等が必要であった。

実践の概要

1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実

- ・1人1台端末を活用し、児童間の情報のやり取りや他者参照の活動を取り入れることにより、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図った。
- ・学習指導案に個別最適な学びと協働的な学びを明記することにより、学習活動の意図や見通しを明確にした授業実践を進めるとともに、共通の視点に基づいた授業改善を図った。

先行実施校による端末の持ち帰りに係る効果と課題の明確化

- ・名寄東小学校を先行実施校とし、4期の試行期間を設定して、端末の持ち帰りに係る効果と課題を明らかにした。
- ・端末の持ち帰りの目的や想定される課題等について、保護者へ丁寧に説明することにより、保護者の理解を図った。



【1人1台端末を活用した学びの様子】



【端末の持ち帰りに係る取組】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・ICT支援員の活用を進めたりMDM (Mobile Device Management: 端末管理システム) の取組をサポートしたりすることにより、端末の持ち帰りに係る課題の解決にスピード感をもって取り組むなど、ICT環境の整備を図った。

〔教職員の取組〕

- ・ICT活用に係る先進校の取組を学んだり研修を受講したりすることにより、ICT活用能力の向上を図った。
- ・授業だけでなく研究協議においてもICT活用を進めることにより、ICT活用の日常化を図った。

成果()と今後の課題()

ICT支援員の活用や研修等を通して、組織的にICT活用の取組を進めることができた。

〔教職員アンケート：「教材教具の整理整頓、デジタル化を推進している。」R4:85.9% R5:88.9%〕

先行実施校による端末の持ち帰りの実施により、端末の持ち帰りに係る成果と課題が明らかになり、各学校の導入に向けた見通しをもつことができた。

〔教職員アンケート：「個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた指導方法の工夫が図られている。」R4:78.2% R5:87.6%〕

端末の持ち帰りに係り、保護者の理解を得ることやルールづくりについては、今後も丁寧に進める必要がある。